

# 第1回 大阪蘇生アカデミー

## ～CPRの「質の向上」と「質の保証の重要性」～

### The 1<sup>st</sup> Osaka CPR Academy

#### ～Progress in CPR Quality and the importance of Quality Assurance～

心停止からの救命にはCPRの質の向上が重要であり、そのためには客観的な評価に基づく検証が必要です。今回我々が1998年より取り組んでいる「ウツタイン大阪プロジェクト」を、“CPRの質”という観点からさらに発展させるために、同分野で活躍しておられる内外の第一人者をお招きし、情報交換の場を設けることになりました。



米国アリゾナからはBentley Bobrow先生をお招きし、アリゾナでの取り組みについてご講演いただくとともに、実際にアリゾナのパラメディックが実践している胸骨圧迫の中断を最小にしたCPRのデモンストレーションを見せていただくという企画も用意しております。当日は、Bobrow先生の貴重なスライドをはじめとした、演者の皆様の抄録集（一部日本語訳付）もご用意致します。一部英語でのご発表となりますが、できるだけ日本語注釈を入れて、言葉の壁を低くする努力をさせていただきます。

途中、ランチは立食パーティー形式とし、交流の場を設けるなど、肩の凝らない楽しい企画となること、間違いなし！？です。「なんやしらんけど、偉い外人さんが来て、なーんとなくわかったような・・・でも、結局なーんにも残らんかったような・・・」などならないよう、皆様の記録・記憶に残る企画を目指しています！

医師、看護師、救急救命士をはじめ、蘇生科学、病院前救急医療に関心のある皆様のご参加を広くお待ちしております。

日時：2013年10月26日（土）

11:00～17:00 10時15分より受付開始

会場：大阪市消防局（大阪市西区九条南1-12-54）

主催：NPO法人 大阪ライフサポート協会

共催：大阪大学 高度救命救急センター

京都大学 健康科学センター

後援：大阪府、大阪市 協賛：フクダ電子株式会社

お問い合わせ先：京都大学 健康科学センター tel: 075-753-2426 担当：中村



Bentley Bobrow 氏

参加費：無料 希望者のみ昼食代 2000円

ランチビュッフェ 京セラドーム2F

「パノラマドームレストラン アサヒ」tel: 050-5797-0219

WEBサイトより要参加登録 定員200名になり次第締切

<https://ssl.formman.com/form/pc/aULkS9uIUxaG8TN6/>



# 第一回 大阪蘇生 アカデミー プログラム (予定)

- 11:00 Opening: 大阪大学 高度救命救急センター 嶋津岳士 教授
- 11:05 Key Lecture 1: ”Scope to improve EMS system and outcomes after OHCA in Japan”  
座長: 国士舘大学院救急システム研究科主任補佐  
国士舘大学 スポーツ医科学科 田中秀治 教授  
演者: 厚生労働省医政局指導課 技官 (調整中)
- 11:20 Symposium 1 : Theme “OHCA registry”  
座長: 大阪府済生会千里病院 救命救急センター 林 靖之 副センター長  
大阪府泉州救命救急センター 松岡哲也 所長  
演題: Continuous improvements in the ‘chain of survival’ and outcomes after OHCA in Osaka: Data from the Utstein Osaka Project  
京都大学 健康科学センター 石見 拓 准教授  
CRITICAL STUDY in Osaka  
関西医科大学救命センター 早川航一 助教  
Korea OHCA Registry: Development, Implementation, and Future Perspectives  
国立ソウル大学救命センター Dr. Sang Do Shin
- 12:40 ランチビュッフェ 90分 京セラドーム「パノラマドームレストランアサヒ」 2,000円  
<お昼を食べながら・・・各地の先進的な取り組みのご報告>  
司会: 京都大学 健康科学センター 石見 拓 准教授  
演題: アリゾナでの取り組み  
Arizona Department of Health Services Visiting Scholar 入澤太郎 医師  
大阪での取り組み 大阪市消防局 救急課 吉田成寿 消防司令補  
豊中での取り組み 豊中市消防本部 救命救急課 米沢隆宏 救急普及啓発係長
- 14:30 Key Lecture 2: “High-Quality CPR and Maximizing Survival From Cardiac Arrest”  
座長: 大阪大学 高度救命救急センター 嶋津岳士 教授  
演者: MD FACEP Professor  
Department of Emergency Medicine,  
Maricopa Medical Center University of Arizona  
Medical Director ADHS-BEMST Prof. Bentley Bobrow,
- 15:30 Symposium 2: Theme “CPR quality and Quality Assurance for EMS”  
座長: 近畿大学医学部 救急医学 西内辰也 准教授  
国立台湾大学 救急医学 Dr. Matthew Huei-Ming Ma  
演題: Effectiveness of simplified CPR training program with chest compressions and an AED use for the non-medical staffs working at a university hospital  
大阪大学 高度救命救急センター 廣瀬智也 特任助教  
How to improve the quality of CPR?  
京都大学 医学研究科 西山知佳 助教  
Quality assurance by use of AED data  
国立台湾大学 救急医学 Dr. Patrick Chow-In Ko
- 16:50 Closing: 大阪市消防局 二宗伸介 救急部長

## 第1回大阪蘇生アカデミー結果報告書

1. 日時：平成25年10月26日（土）11時～17時
2. 会場：施設名「大阪市消防局 7階講堂」  
所在地 〒550-8566 大阪市西区九条南1丁目12番54号
3. 参加対象者：救急関係医療従事者及び救急隊員（又は消防職員）
4. 参加人員：147名（救急救命士・消防士 93名、  
医師・看護師 30名、  
その他 24名）
5. 実施内容と成果：

『CPRの質の向上とそのための Quality Assurance（質の保証）の重要性』をテーマに、病院外心停止のレジストリーと病院前救急医療体制の質の管理という2つのテーマのシンポジウムと世界各地の先進的な取り組みを紹介するセッションを用意し、アジアも含め第一線で活躍している救急医・研究者、消防本部からトピックスをご紹介いただいた。

キーレクチャーには、厚生労働省の立場から病院前救急医療の充実に尽力されている先生に加え、本領域の世界的リーダーであるアリゾナ大学 Bentley Bobrow 先生をお招きし、Bobrow 先生には、アリゾナで実践されている胸骨圧迫を連続して行うパラメディックによる CPR もデモ展示いただいた。

<成果>各国の最新の取り組みや、日本の現場からの報告を通じ、最前線で働いている方々が集めているデータによって、それらの取り組みを科学的に評価し、エビデンスに繋げて発展させることの重要性を広く伝える事ができた。

（アンケートからも、参加者の多くが満足しており、次回開催を期待している事が窺えた。）

以上





